



発行：小網代ヨットクラブ
 〒238-0225
 神奈川県三浦市三崎町小網代1385-18
 Tel 080-9571-4663
 編集：広報委員会
 編集長：里吉美恵子

小網代通信

2018年 12月号 VOL-246

今月の内容

・連絡事項	編集委員	1ページ
・「第一回 KYCタウンパーティ 風景」	KYCタウンパーティ実行委員会	2ページ
・「IDEAL 艇を買替えました！M.A.T.1010」	勝田 雄介(IDEAL)	3～4ページ

連絡事項 (編集委員)

1. < 12月4日火曜日 第一回 KYCタウンパーティ 開催！！ >

初めての試みとして、平日の夜に東京・代官山にて第一回 KYC タウンパーティが開催されました。小網代ヨットクラブ 47 艇の内 24 艇のメンバーやファミリー・ゲストと KYC 以外から KFR に参戦いただいている 3 艇の皆様が加わり、18 歳の学生セーラーから超ベテランの 80 歳台まで、総勢 90 人以上の方の出席をいただきました。歳や経験の差を飛び越え、会場内は始終会話が弾み、美味しいお料理と素敵な音楽を楽しんだ 2 時間があっという間に過ぎてしまいました。2 ページに写真を掲載しましたのでご覧ください。

2. < 12月6日木曜日 JSAF 関東外洋四団体忘年会・表彰式にて >

今年 JSAF (旧 NORC) 50 年永年には、KYC から「KAMAKURA III」の平賀 威氏が表彰されました。また 11 月に行われました“小網代カップレース”の表彰式も行われました。“小網代カップレース”優勝「グランブルー」・2 位「ゲフィオン」・3 位「ビターエンド」、KFR 部門の 3 位に「テティス4」が入りました。



写真 左：永年表彰の平賀 威氏
 中上：優勝艇「グランブルー」
 中下：3 位「ビターエンド」
 右：KFR 部門 3 位「テティス4」



【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 12月17日(月) 18:30～21:00 駐健保会館4階会議室(JR田町駅より徒歩10分)】

第一回 KYC タウンパーティ(東京・代官山) 風景

KYC タウンパーティ実行委員会



パーティの終わりに「ネプチューン」古屋オーナーより閉会のご挨拶をいただきました。



ボーカルの立原綾乃さん、ピアノのフレドリックさん(フランス出身)、お二人に素敵な演奏をしていただきました。

参加者の感想より：

盛大なパーティ楽しかったです。おしゃれな代官山で、ジャズもとてもよかったです。普段お話しできなかった方々と交流ができて、とても良かったです。また、次回あれば参加したいです。ゆっくり楽しませて頂きました。駅から近く分かり易い場所でした。

この度、IDEAL の艇を SWING31 から MAT1010(マツ・テンテンと呼びます)に変更しましたので、皆様にご報告させていただきます。また、変更手続きや泊地の移動にあたり KYC と漁協の皆様にも大変お世話になり、この場をお借りして御礼申し上げます。

私達チームは 1994 年に 15 名の共同オーナーで活動を始め、翌年に中古の SWING31 を沼津から小網代に回航して以来、24 年近く乗りました。メンバー全員が大学ヨット部で 470 に乗っていた OB で、当時まだ就職間もない 20 代前半から 30 代前半でした。

SWING31 は我々の活動には本当に理想的な艇で、KFR のほか、ミドルボート選手権、鳥羽パールレース、トウキョウズカップなど大きなレースに参加しつつ、伊豆や房総クルージングなども楽しんできました。

船齢も 30 年近く経ち、経年劣化やエンジンの不調も増える一方、ボルボ部品の供給も難しくなり、また、レースでも我々よりも低いレーティングの船がほとんど無くなってきたため、ここ数年はメンバーで買替えの話をする機会が増えていました。筆者もここ 8 年は海外勤務などで活動参加がほとんどできませんでした。今年に入って復帰して、「買替え担当」に指名されたことで本気で情報収集し始めました。

まずは、最近のレーティングやレース情報を参考に、33ft 以下のクルーザー/レーサーの候補をピックアップし、具体的には VITE31、XP33、SEAM33 あたりの良い出物がないかな・・・と中古艇情報サイトを眺めていました。しかし、ここ数年新艇はもちろん、中古艇の動きも非常に少なく、性能、価格、経年の点でピタッと当てはまる艇はほとんどありません。買替えの資金源はチーム設立から 10 年間、メンバーが皆若いときに積み立てた基金の範囲なので無理はできません。

そんな中、ふと一目惚れしたのが鮮やかなブルーの MAT1010 という最新鋭の IRC ボート。2015 年製造とまだ新しい。設計は IRC ボート界をリードするマーク・ミルズ。製造はトルコの M.A.T 社という新興メーカー。2011 年に製造開始されてからヨーロッパを中心に 20 数艇あるようで、日本には 2 艇入っている。情報を見た翌週には仲介業者である VMG ヨットの松崎氏に連絡して艇を見学しました。

ツインラット、カーボン製ジェネカーポール、レーシーなコックピット。レーティングは X-35 や A-35 と同等、速い。K-36 や GP-33 などいわゆるハイパフォーマンスクラスは別格として、その次グループに位置する。一方、内装は十分な室内高さや広さ、シンプルだが十分居心地良い内装と設備、SWING31 からのステップアップとしては最適な選択肢と判断して、メンバーで 10 日間話し合っ購入を決定しました。

しかし、ここからが大変でした。まず手元の資金だけでは不足。なんとか基金の未納分をメンバー数名から回収して目処をつけました。同時に SWING31 の売却情報をホームページ掲載して、大変幸運なことに 1 週間で買手が決定し、2 週間後には引き渡しの段取りとなりました。ここで手続きに問題が発生。名義変更に必要な印鑑登録のうち、メンバーの一人が日本の住民登録を抜いて海外に転勤したため、JCI に確認したところ日本大使館にサイン証明と在留証明を発行してもらって提出せよとのことで、慌てて取り寄せ、綱渡りの日程で手続きが完了しました。12 名の共同オーナーでの売却、購入、JCI 名義変更、東部漁港の申請は書類を揃えるだけでも本当に大変でした。東部漁港の実測確認も無事クリアしました。



2018/8/26 相模湾ヨットフェスティバル
OPEN-B クラスで優勝！(写真はレース事務局)



2018 年 6 月 17 日 KFR にて

SWING31 の新しいオーナーは北九州の方で、泊地は関門海峡の麓の田野浦というところ、小網代から 10 日かけて回航して、11 月初旬に無事に到着した、とのご連絡をいただきました。新しい海で元気に走り続けることを祈っています。

SWING の引き渡しの翌週、MAT1010 の引き渡しを受け、秋晴れの穏やかな風の中、初めて操船して小網代まで回航しました。第一印象はスムーズ。ハルは軽量ですがバルブキールが 2 トン以上あり安定感十分。ノン・オーバーラップ・ジブでタックは楽ですが、2.5m もマストが高くなり、マストトップ・ジェネカーやスピネーカーは面積が大きくてパワフル。これは吹いたらすごいぞ！と未体験のスピードを妄想します。

一方、大型化と慣れない艀装(ティラーからラット、初めてのジェネカー、メインシートウインチなど)、レーティングが高い分しっかり前を走らないと修正順位を落としてしまうなど、自分たちの体力やスキルへの不安もあります。しかし、これを機に新たなメンバーを勧誘して活性化を図り、練習もしっかり頑張ろう！とチーム皆気合十分です。

回航後すぐに船底塗装とパウ・クリートの追加のためシーボニアに上架しており、下架は 12 月中旬になる見込みです。艇名のカットイングシートは KYC 清水会長に貼って頂き、ワックスがけもして、外観もキマってきました。いよいよ KFR デビューするのが楽しみです。皆様、どうぞお手柔らかにお願いします！

IDEAL : M.A.T.1010

(2015 年 トルコ、MAT 社製造、ハル No.15, 33ft)

